

ヘルスケア業界向け企業データ提供 サービス提案

名前 松永 洋祐

背景・課題

ヘルスケア業界ではこれまでのチャンネルのみでは効果的なプロモーション活動が難しくなっており、リアルとデジタルを有機的に連携する統合的なマルチチャンネル基盤の整備が必要

修了制作を通じた解決

必要データを収集、統合し、次の一手に向けたアクションに結びつける事を目的としたデータ活用が必要

業界を取り巻く環境

背景

- 業界を取り巻く環境は、ステークホルダーの多様化など、これまでのチャンネルのみでは効果的なプロモーション活動が難しくなっており、デジタルチャンネルの重要性が増しています。
- 今後はリアルとデジタルを有機的に連携する統合的なマルチチャンネル基盤の整備が求められており、SNSをはじめとする外部情報もマーケティング施策の検討における重要な情報として捉える必要性が出てきています。
- これら社内外の必要データを収集、統合し、次の一手に向けたアクションに結びつける事を目的としたデータ活用について、早期変革に向けた推進が必要と認識しています。

背景

製薬業界はこれまでのチャンネルのみでは効果的なプロモーション活動が難しくなっており、デジタルチャンネルの重要性が問われている

課題

今後はリアルとデジタルを有機的に連携する統合的なマルチチャンネル基盤の整備が必要になる。SNSをはじめとする外部情報もマーケティング施策の検討における重要な情報として捉える必要性

方向性

必要データを収集、統合し、次の一手に向けたアクションに結びつける事を目的としたデータ活用が重要

ビジネスモデル



- ✓ リアルとでデジタルのデータソースを統合し、顧客へのデジタルマーケティング活動が可能
- ✓ MRなどの人的リソースの最適化、プロモーション活動の区別化